

第 2 回

新市まちづくり検討小委員会会議録

と き 平成 1 6 年 1 月 2 9 日

と ころ 西脇市生涯学習まちづくりセンター市民活動室 3

西脇市・黒田庄町合併協議会

第2回新市まちづくり計画検討小委員会次第

日時：平成16年1月29日（木）

時間：午後3時05分～5時51分

場所：西脇市生涯学習まちづくりセンター市民活動室3

1 開会

2 委員長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 議事

- (1) 新市像と将来像について
- (2) 合併の必要性と効果について
- (3) 住民意向調査の結果概要について
- (4) 両市町の現状・主要課題について
- (5) 新市の将来像・基本理念について

5 次回の議題について（予定）

- (1) 新市の主要課題について（確認）
- (2) 新市の将来像・基本理念について
- (3) 新市将来構想の協議会報告について
- (4) 新市まちづくりの基本方針について

6 その他

次回の開催日程

日時 平成16年2月23日（月） 午後6時30分～

場所 西脇市生涯学習まちづくりセンター

7 閉会

出席名簿

【委員】

氏名	備考
長谷川 俊 雄	委員長
小 林 茂 夫	副委員長
浅 田 康 子	
岩 崎 貞 典	
宮 崎 正 則	
東 野 一 彦	
西 山 孝 彦	

【事務局等】

事務局長補佐	藤 原 俊 三
事務局員	板 場 逸 史
コンサルタント	千 田 雅 明
”	前 田 直 之

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局長補佐	<p style="text-align: center;">(開 会 午 後 3 時 0 5 分)</p> <p>それでは、全員の委員さんおそろいでございますので、始めさせていただきます。</p> <p>本日の会議につきましては、委員7名中7名の委員さん全員の方に出席をいただきました。協議会小委員会規程第5条第2項の規定によりまして会議が成立をいたしておりますので、ご報告を申し上げます。</p> <p>また、本日の会議につきましては、新市まちづくり計画の策定支援業務を行っていただいておりますパシフィックコンサルタンツ株式会社の研究員であります千田さんと前田さんにもご出席をいただいております。後ほど、住民意向調査の結果の概要、また、西脇市と黒田庄町の現状と考えられる課題などをご説明いただきまして、新市の将来像に向けたワークショップについて進行の方をお願いしたいというふうに考えておりますので、ひとつよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、さきに送付をさせていただいております資料をごらんいただきまして、この中にございます会議次第に沿って進めさせていただきますというふうに思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会議の議長につきましては、小委員会の規定に基づきまして、委員長に務めていただきたいというふうに思いますので、長谷川委員長様より、よろしく願いしたいと思います。</p>
長谷川委員長	<p>どうも、皆様、こんにちは。失礼します。</p> <p>非常に好天続きですが、やはり風はそれなりに冷たいなというふうに感じております。</p> <p>本日は、非常に、公私ともども皆様におかれましてはお忙しいところ、ご出席賜りましてありがとうございます。</p> <p>第3回を終えました合併協議会についても非常に順調に進んで</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局長補佐	<p>おりまして、非常に喜ばしく思っております。幹事会をはじめ事務局側の綿密なる打ち合わせ、調整あつてのことと、もうひとつは、どうしても我々法定協の委員さんの、市民のための合併をするんだという一つの意志のもとに、多少の食い違い、すれ違いあるいは利害関係が発生したとしても、それに向けて進むという、一つのそういう思いが大きく左右しているかと思えます。</p> <p>本日、この会議、第2回目ですけども、きょうから本格的に住民の意思に基づく新しい都市計画づくりという非常に重要なものを占めるところの協議に入らせていただきます。このわずかなメンバーでもって、ましてや非常に短時間に審議をするということは非常に困難なことと思えますけども、ひとつよろしく願いしたいと思えます。</p> <p>続きまして、議事に入ります前に、会議録署名委員の指名でございますけども、本日は、黒田庄町の宮崎委員にお願いしたいと思うので、ひとつよろしく願いしたいと思えます。</p> <p>それでは、次第に基づきまして、議事の第1番である、都市像と将来像について、前回の協議会より、事務局の方より報告していただきます。</p> <p>それでは失礼いたします。</p> <p>特に資料は用意しておらないわけなんですけども、前回の協議会の中で、新市の都市像についての協議がございましたが、このことにつきまして、先ほど委員長さんの方からもございましたように、協議会の中では、新市において調整するというを既に確認いただいたわけですが、その中で、この小委員会において都市像を検討するといった意味合いの発言もございましたりしまして、ここで、都市像と、今回、小委員会で策定をしていただくこととなります新市の将来像の関係を、ここでちょっと整理をさせていただきたいなというようなことで議題に載せさせていただきます。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>まず、新市のまちづくり計画の将来構成部分で策定をいたしますのは、前回の小委員会でも確認いただきましたとおり新市の将来像でございます。これは、住民と行政が新市のまちづくりの方向性に関して共通の認識のもとに、一体となって取り組むまちづくりの目標ということになるものでございます。</p> <p>この将来像の策定の目的は、あくまでも新市のまちづくり計画を実施していく上での目標というものをキャッチフレーズで想定したものでございます。現在、両市町で策定しております総合計画がございますけども、これの将来像につきましては、西脇市につきましては「ふれあいと安心の人間都市」といったものがございます。黒田庄町では、旧の計画によりますと、「人と自然が元気になる心のふるさとづくり」といったものが将来像ということによって掲げられてございます。これらは、それぞれの総合計画の実施期間において計画を実施していく上での目標というふうな位置づけがございます。</p> <p>一方、都市像につきましては、その都市が永続する限り、まちのイメージとして存在していくものとして普通は制定されていくものでございます。西脇市につきましては、昭和50年に「緑と清流の文化・工芸都市」というふうな都市像を掲げて、以来、市の総合計画の見直されてきた中で、時代に応じて計画期間の目標となる将来像の見直しをされてきたわけでございますけども、都市像は西脇市というまちを端的に表現するキャッチコピーというようなものでございまして、将来にわたって西脇市のイメージとして受け継がれていくというふうなものでございます。</p> <p>したがいまして、都市像につきましては、多くの住民の方が共有できるまちのイメージというふうなものでございます。長期的に受け継がれていくものでございまして、一方、この新市のまちづくり計画でつくります将来像につきましては、都市像の理念に基づいて目的や期限を限定したイメージで策定するというふうな</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>形であるというふうに考えております。</p> <p>そういうことで、全国的には、都市像と将来像、その両方につきましても、明確な定義というものはないわけなんですけども、将来像と都市像が別々に制定されていたり、また、将来都市像というふうな形で制定がされておったりというふうなことで、いろいろなパターンもあるわけなんですけども、まちづくりの基本目標として制定をいたします。</p> <p>そういうことで、繰り返しになりますけども、今回、西脇市と黒田庄町の合併協議会の中で申します都市像というものにつきましては、説明を先ほどさせていただきましたような位置づけのものでございまして、将来像は新市のまちづくり計画の中でまちづくりの方向性をあらわすというふうな限定的なものであるというふうな考え方で進めさせていただきたいなというふうな考え方でありますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>以上、事務局の方で考えております都市像と将来像につきまして、ちょっと説明をさせていただきましたので、またご意見なりご質問等がございましたらお聞かせ願ひたらというふうに思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p>
長谷川委員長	<p>どうもありがとうございました。</p>
浅田委員	<p>今、事務局の方からご説明を受けたわけなんですけども、ご意見なり話したいことなどがございましたらご質問いただきたいと思います。</p>
	<p>ちょっと話が行ったり来たりして恐縮なんですけども、前回の合併協議会のときに、市章については「新市において調整」するとか市歌やとか9項目が出ましたですね。その中で「調整する」というのと、それから「引き継ぐ」というのもありますし、その言葉の最後の「調整する」というのは、新市になって調整をするものと、それまでに公募において決定するものと、その辺は、今この時点ではっきりしておかないと、公募するならするで、ずるずる</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>公募するの言葉のまま引っ張っていったら、結局公募する期間がなくなったとか短かったとかというようなことで、どなたかが何らかを提示して、そのどちらかを決めるとかそういう形にならないかという危惧はあるんです。</p> <p>ですから、それまでにすべきこと、それ以後にすることも、公募なら公募をすると決めて、公募するなら公募する方向で、既にできることは進めていかないことには、どうしても期間がなくなった、短なったということで取り急ぎすることになるのではないかしらと思うので、きょうすることは、都市像計画やとかそういうことはよしとしてですね、この前の協議会の話で、調整をするという言葉が、いつになったらその言葉が取れるんやろなと思たんですね。ずっと調整してばかりいったら、結局、何か大忙しで決めていかんなんことになるんじゃないかしらと思うんですが、どれを公募にして、どれを新市につなぐのかということは決められないものですかね。</p>
長谷川委員長	<p>今のご意見の中で、前回の協議等の中で、市のマークについてはこの期間中に決めましょうということで、それについては公募とかいろんな意見が出てましたですね。</p>
浅田委員	<p>調整するということで終わったと思うんですけども。</p>
長谷川委員長	<p>あの時点で、一応、この期間中に合併協議会で決めるという話の中でしたから、それに基づいて、今事務局側で、それに対する調整をやっていただいていると思うんですけども、このあたりはどういうふうにするんですかね。</p>
浅田委員	<p>公募をするということになったのと違いますの。</p>
東野委員	<p>いえ、まだ結論は出てません。</p>
浅田委員	<p>出なかった。</p>
長谷川委員長	<p>出てなかったはずなんでね。だから、あのときは新市が発足するまでに決めましょうというところだけの結論がでました。</p>
事務局長補佐	<p>事務局です。先ほど、浅田委員さんの方から、やっぱり委員さ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
東野委員	<p>んにすれば、もうちょっとはっきりしてほしいなおっしゃりたいということじゃないかなというふうに思うんですけども、前々から言っておりますように、事務局といたしましては、かなり事務事業がありまして、今すぐに調整がつくものばかりであればいいんですけども、先ほど出とりますような新市の市章につきましては、発足時までに調整するというところでございまして、今の時点では、新市発足にあわせた市章をつくりたいという思いはあるわけなんですけども、それは、先ほど意見出ておりましたように、また、前回も意見出ておりましたように、公募にしてはどうかというような意見もございましたので、そこらも含めまして検討させていただくというふうなことでしか、現時点ではちょっとはっきり申し上げられないというふうなことになるかと思うんです。</p> <p>そういうことで、時点が新市発足までということであれば、新市発足時には、それはもうきっちり整った形で出せるという状況になっておるといのは確かなわけなんですけども、それがいつにというのは、今の時点ではちょっとはっきり申し上げられにくいんですけども、この期間、順番に整理しながら事務事業にあわせて、こういった市章につきましてはの検討はさせていただくということは間違いはないんですけども、今の時点では、ちょっとそういうふうな表現であらわすしかしょうがないという項目もございますので、ちょっとご理解をいただけたらというふうに思うんです。</p> <p>今の答弁、ちょっとあいまいな感じもせんではないんですけども、やはり調整できる段階にならな、調整するということにならな、今おっしゃる市章については、何かこう対策というんですか、どういう方向で市章を決めていくのかということ、まずその中の小委員会の中でも、次の協議会で提案をするような格好になれないんでしょうか。</p>
事務局長補佐	<p>そしたら、一応、この市章関係につきましては、協議会の中の</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
小林副委員長	<p>組織で言いますと、総務・企画部会の取り扱い担当ということになりますので、そこらにも話しまして、また、助役等の幹事会等でも話をさせていただきまして、そういった意見があるというようなことで話をさせていただきたいというふうに思います。</p> <p>西脇の小林ですけど、ちょっと我々の合併協議会で決められることと、それから、むしろそれは議会で決められることだとか言われるようなことはね、最終決定は、どうもちょっとよくそこら辺がわからない。我々はどこまで決められるんだ、というようなことがですね、どうもよく見えてこないんです、私には。</p> <p>ということで、本当にどこまで決めていいのかなてなことがあるのと、一つ目は、将来像という形で、ただ、これほかの、合併されてるとこのいろんな将来像という形が出てますけど、例えば、西脇が今、「緑と清流の文化・工芸都市」ですか、あれは議会で決まるんですか。</p>
事務局員	<p>都市像、そうですね、昭和50年に、あれは第一次総合計画の中で策定された将来像ということで、それが都市像という形で制定されてるんですけど、あれにつきましては市章とかと同じのように議会において、最後、50年の3月議会かと思うんですけども、そこで決められています。</p>
小林副委員長	<p>例えば、第三次計画の、私らメンバーかかわってやってるんですけど、こういうキャッチフレーズについては別に議会とは関係ないんですね。今回の将来像については、ある程度キャッチフレーズつくるけど、そこで決めるんじゃなくて、ある程度方向性だけ決めといたらいいというような感じなんじゃないかな。</p>
東野委員	<p>そうですね。決めて、最終的に議会の承認が要ると思いますね。</p>
事務局員	<p>合併協定項目すべて含めて、関係市町間で調印しまして、それで、議会では合併の議決を得るときに、それ参考資料として、こういう協議を踏まえてという形ですということですから、議会</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>の議決事項の一つですね。</p> <p>したがって、すべて一応決めて、最終的には西脇市・黒田庄町の議会でもって最終調印をとるといふ、そういう形ですね。それでよろしいんですね。</p>
宮崎委員	<p>すべての項目というのは、そういうふうにも最終決議は議会がやると聞いてるんですけども。</p>
小林副委員長	<p>すべての項目についてですか。</p>
東野委員	<p>そりゃ、議会でそこで否決されれば、協議会つぶれてしまいますのでね、合併が。そういうことはないと思いますけども。</p>
小林副委員長	<p>そうすると、議会は通常の決議以外に、これを特別に取り入れて協議いただかないかという話なんですね。</p>
事務局員	<p>これが協定書というので調印されまして、それを受けて、議会ですることですから。これを踏まえて、新市の名称から順番に協定項目がはじめにあったと思うんですけど、それに決まってきた、これを踏まえて議会でそれぞれの市町議会で合併をどうするかという議決がされるんで。</p>
小林副委員長	<p>最終承認は必要ないということですかね。</p>
事務局員	<p>そうですね。</p>
小林副委員長	<p>それにかかわらず我々は進めたらいいと、こういうことですね。</p>
事務局員	<p>そうですね。</p>
小林副委員長	<p>そこまでわからないんやから。どんどん進めていったいいわけですね。</p>
東野委員	<p>どんどん進めんとだめですね、もう進めていったらいいんじゃないですか。</p>
宮崎委員	<p>黒田庄町の宮崎ですけども、前回の協議事項の中で、関連のところでも9項目が上がっておったんですが、この9項目の中で、市章については、これは先ほど言われたように、経費削減のために現西脇市章を使ったらどうかという意見に対して、公募にしてはどうかという意見を出させてもらったんですが、これが確かに、ま</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p data-bbox="284 837 408 869">事務局員</p> <p data-bbox="253 893 437 925">事務局長補佐</p>	<p data-bbox="464 315 1340 405">だ公募なのかどうなのかというのは最終確定してないですよ。先ほど言われたとおりと思うんですが。</p> <p data-bbox="464 432 1340 813">もう一つ、今、私ちょっと疑問に思とんのが、残りの8項目に関しては、新市において調整して検討していくというふうに判断しとったんです。それが、この小委員会の場で、都市像と将来像についてが議事に上がるとるということは、これ新市になって初めてこの問題に対して取り組んで、公募なり何なりの形で、新市の体制で進めていくべきもんやと判断しとったんですけども、その辺はどうなんでしょうかね、きょうの議事に上がるとるということ。</p> <p data-bbox="496 840 1139 871">きょうの議事に上げましたのはその違いですね。</p> <p data-bbox="464 898 1340 1686">将来像と都市像のことですね。これにつきましては、前回、藤井委員さんの方から、このまちづくり計画も関係すると思うんですけども、慣行の取扱いの中で、都市像については先に市章よりも決めておくべきではないかという委員さんからの発言があったと思うんです。それで、あえて今回ここに掲げましたのは、新市のまちづくり計画で今つくろうとしております将来像と、また、藤井委員さんが言われております都市像とは、ちょっと若干うちの思いとは違いがあります。先ほど違いは申し上げたとおりなんですけども、そういうことで、前回の協議会では、都市像を先に目標を決めておかないかの違うかなというふうな意見がございましたので、こちらの思いとしたら、先ほど言いましたように若干違いがございますので、うちとしては将来像を目標に、それができてから都市像ができるもの、そういった形のものじゃないかなという思いで話をさせていただいたということなんです。</p> <p data-bbox="464 1713 1340 1977">ですから、前回の協議のことも関連はするんですけども、ちょっとそこらの整理だけを先にさせていただいておかなければ、この小委員会でも検討してもらったというふうなこともございましたので、そこらもあわせてちょっと出させていただいたということなんですけども。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
宮崎委員	<p>今回の場合、上がったのは、都市像としての協議をしていただけに、ある程度、大枠の将来像についての協議を進めていったらいいということですね。</p>
事務局長補佐	<p>そうですね。まちづくり計画の中につきましては、計画期間中の将来像という格好で進めさせていただきたいという思いであるんですけども。</p>
宮崎委員	<p>はい、わかりました。</p>
長谷川委員長	<p>ほかはございませんか。</p>
小林副委員長	<p>すみません、大体このほかのところ、これ参考資料で言うと、合併するに当たって将来像というのはある程度決められてるんですね。</p>
事務局長補佐	<p>そうですね。</p>
長谷川委員長	<p>ないようですので、それでは次へ進めさせていただきます。 次に、2番目の、合併の必要性と効果についてということで、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局長補佐	<p>それでは、さきに送付をいたしました資料のうちから、右肩に資料1と書かれておるものをごらんいただきたいと思います。</p> <p>本日、この後、行っていただきます計画策定に向けた話し合いに先立ちまして、合併の必要性と効果について取りまとめましたので、簡単に説明させていただきます。この部分につきましては、まちづくり計画の序論といたしまして、最初に記述していく部分ということになります。</p> <p>まず、合併の必要性についてですけども、社会潮流と地域特性からの観点で、大きく分けて6つを事務局で整理をいたしました。</p> <p>1点目ですが、地方分権時代への対応ということが挙げられております。住民に身近な行政は、市町村で、との考え方のもとに、国や県の責任で行っていた行政サービスを、市町村が自らの判断と責任で実施する地方分権が進められております。市町村は、この役割を十分に担えるように体質の強化を図ることが求め</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>られております。</p> <p>次に、2点目ですけれども、少子高齢化への取り組みが上げられております。</p> <p>全国的な少子高齢化により、2005年度以降は、日本の人口が減少していくことが見込まれております。西脇市と黒田庄町におきましても、兵庫県平均よりも高齢化が進んでおりまして、今後ますます福祉サービスの経費が増えていくとともに、生産年齢人口の、つまり働き盛りの人口の減少ということがございまして、地域経済、またコミュニティの活力低下にもつながっていくというふうに考えられます。このため、子育ての支援を含めた福祉サービスを維持、充実させることで、住みよいまちづくりをしていくことが求められております。</p> <p>次に、3点目ですけれども、住民生活の質的变化への対応でございます。</p> <p>人々の価値観の変容によりまして、行政へのニーズの多様化いたしております。交通の発達などによりまして、住民の生活行動、また、従来の行政区域を超えた広域化がなされております。両市町は一体的な生活圏をなしており、行政区域を越えた行政ニーズの拡大にこたえ、広域的観点から、総合的にまちづくりを進めていくことが必要ということになります。</p> <p>次に、4点目ですけれども、共通する地域課題への対応でございます。</p> <p>両市町には、播州織などの共通の地場産業がございます。経済環境の変化により、低迷する地域経済の振興、また、国道バイパスの整備などに共通する課題を抱えております。これらの課題に効果的に取り組んでいくためには、一体的な行政を展開することが有効な手段であるというふうに考えられます。</p> <p>次のページをごらんいただきたいと思います。</p> <p>合併の必要性の5点目といたしまして、豊かなまちづくりが可</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>能になるということが挙げられております。これからは、都市間競争よりも、地域の中での連携を図りながら、両市町の持つあります強みを生かして、魅力あるまちづくりを進めていく必要があるのではないかと考えております。西脇市と黒田庄町の持つお互いの特性を生かし、魅力あるまちづくりに努めていくことが可能となります。</p> <p>最後に、6点目でございますけども、行財政基盤の強化が上げられております。</p> <p>ご承知のとおり、国、地方とも極めて厳しい財政状況にある中で、国は地方財政制度の見直しを検討しております。両市町は、財源の多くを国や県に依存しておりまして、抜本的な行財政運営の効率化に努めていくことで、行政基盤の強化を図ることが必要であるというふうに考えられると思います。</p> <p>続きまして、次のページになりますけども、合併の効果についてでございます。</p> <p>これは、合併を行うことにより、どのような効果、メリットが考えられるのかということの検討をここからしていきます。</p> <p>まずは、1点目でございますけども、さきに申しました合併の必要性の1点目として上げました、地方分権時代に向けた対応ができるということが上げられます。</p> <p>それから、合併の必要性の2点目から5点目までに対応する効果といたしまして、行政サービスの高度化や多様化、また、広域的視点に立ったまちづくりが可能になるということが上げられます。</p> <p>そして、次のページになりますけど、最後に、行財政の効率化ということをして上げております。</p> <p>合併することによりまして、行政の管理部門の一元化を図ることができまして、人件費など行政経費を減らすことが可能になります。ただ、さきに申しましたように、広域的視点からもまちづ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>くりともかかわることになるんですけども、公共施設の効率的な配置、また、相互利用が可能ということになります。また、建設経費でありますとか維持経費の削減も可能になるというふうなことでございます。</p> <p>この行財政の効率化につきましては、財政基盤の強化と人員の必要な部分への配置といったことにもつながりまして、さきに申しました地方分権時代への対応、また、行政サービスの高度化への対応などの効果にもつながっていくというふうに考えております。また、行財政の効率化につきましては、国の財源に依存いたします地方にとっては、合併は行革の最も効果的な手段であるというふうに考えておるわけなんですけども、これは、行政運営という面から見れば、非常に重要なことであるということは確かなんですけども、このことだけを主目的に考えるということではなくて、さきに述べましたような、今よりも高度で、できるだけ住民ニーズに対応していけるまちづくりをしていくというふうなことを考えながら、この合併を進めていくというふうなとらえ方をしておくことが重要であるというふうなことで考えております。</p> <p>以上、事務局の方からの説明を終わらせていただきます。</p> <p>どうもありがとうございます。</p> <p>今の説明を受けまして、もう少し説明を受けたいということがありましたらお受けしたいと思います。</p>
小林副委員長	<p>西脇市の小林です。</p> <p>いろいろ言いたいこともあるんですが、1点はですね、少子高齢化への取り組みというところで、かなり具体的な話になってきますと、全般としてはこれでいいんですけども、ただ、ここに今までの取り組みの中で、私、すべての体制がこの少子高齢化というのが一番の基本だと思ってるんですね。日本が今一段と厳しい状況になっているのは、少子高齢化というのが非常に進んでるといのが基本だと思っておるんですが、その中で、一般的にこう</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>いう取り組みというのが進められているんです。これは、特に、子供をいかに安全に安心して産んでいただくかというような施策を非常にとってるんですが、たまたま文芸春秋のですね、今後10年どうなるかというところの、堺屋太一さんがですね、むしろこれはこういう体制じゃなくて、つまり、高齢化社会の「好老社会」、老を好きになる社会と、「好縁社会」、縁を好きになる社会、つまり、老人層が楽しく安全に愉快地暮らすということによって、老を見直して、老が楽しいからもっと安心して子供が産めるんだというような発想をしないと、少子に対する取り組みの中に、さきに言ったようなことにしましても、老が不安だからそれはできないんだといったことですね、そういう発想の転換をしないとこれは解決しないと、こういうようなことを非常に書かれとるんですね。</p> <p>私、確かにそうだと思います。仮にこれ少子高齢化、少子高齢化と言えは言うほどですね、どんどん少子になっておりまして、現実には、いろんな社会保険制度、年金制度につきましてもいろいろ対策立てられておりますけど、現在の出生率のことを基準にしてやっておられるんですけど、行き詰まるのが目に見えてるんです。そういう発想ではだめだと。もっと老後が楽しいという発想でないと、安心して子供が産めないというようなことに切りかえないとだめなんちゃうかなという、非常に大きな課題ですけど、そういうことを言われてる。そういうふうな発想が少しできないかなと。特に、ここはもっと一番にこういうことやれないかなというのが1点です。</p> <p>それから、非常にこううまくまとめておられるんですが、ただ、ここで余りこれを、全般としてですね、合併の効果というようなことで全面に出ますと、住民サイドから見たときにですね、これは今言っても仕方がないことなんです、それやったら、この効果的なことから行くと、西脇市、黒田庄町ではとてもじゃないが</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
東野委員	<p>効果があるんかいというふうな見方が、特にこういうのができないのかな、されないのかなと、何で西脇市、多可郡一緒にやれないのか、あるいは西脇市、多可郡だけじゃなくて、もっと大きな話としてでやれないのかと。ちょっと突き詰めればそういう議論になるのかなという、ちょっとこの議論を進めますとね、行き過ぎですかね。ちょっと私、今感想的にはそう思うんです、すみません。</p> <p>黒田庄町の東野です。この中で、うまくまとまっているんですけども、合併してどんなまちをつくっていくんだという基本理念というんですか、合併してお互いに住みよくなった、暮らしよくなった、合併してよかったなと言えるようなまちをどのようにつくっていくのか、その辺はビジョン的なものがもう1点欲しいかなと思って出しとったんですけども。</p>
事務局員	<p>ビジョン的なものを今からから逆にいいましたらもんでいくのが一つと、必要性和効果、必要性は2番的なものにこうしまして上げておるんで、効果の部分については、最後までできる計画にある部分で、これ例えば、このままでとりあえず置いているんですけども、極端なことを言いましたら、少子高齢化への対応はどこでやれるか、その部分を充実していかなあかねやという効果で今とどめておるんですけども、そんなことないと思うんですけど、極端に言いましたら、その部門を余りしないということやったら、この効果というのはつながってこないとかいうことになりますけど、最後、ある程度合ったまちづくりの、これからできていく方向に合ったものには効果というのは具体的にまた書きかえていける部分ではないかと思っておるんですけど、今とりあえずこの情勢から考えられる効果という意味で、一応整理して書いた段階です。</p>
宮崎委員	<p>黒田庄町の宮崎ですけど、今の合併の必要性の中で、一番最終項目で、行財政基盤の強化というのを一つの課題としてあげてあるんですが、これに対する効果として、具体的には行財政の効率</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局員	<p>化というのをあげておられると思うんです。それで、新市になった時点で、新市の財源がやっぱり一番今後問題になってくると思うんですよね。そうなったときに、この財源を今までどおり税収のみで賄おうとする体制で進んでいこうとするのか、それとも、新市としての新たな財源を組んでいけるような構想を含めた上で、この行財政の基盤、財源の確保に臨もうとしていくのか、その辺はどういうふうに事務局サイドで今検討されよるのかいうのをちょっと聞きたいんですけども。</p> <p>まだ、これから案でつくっていただく中ですけど、あくまでも行政としての課題として思っているのは、一つ、行財政改革なんですけど、まちづくりのいろんな施策いうのが出てくるんですけども、施策を柱としましたら、土台としてあるのが、絶対、行財政改革、これ行政内部である程度できることとできないこととあるんですけど、行財政改革と、もう一つは、行財政改革と間接的につながっていくものではないかな思っていますのが、住民のまちづくり、仕組みですね。これをすることによって、ある程度まちづくりの、今現在やりよる仕事なり、肥大化する行政の事務をある程度、まちづくりの部門で住民に担っていただくことの仕組みができれば、これによって行財政改革につながるのではないのかなというイメージで、これ、あくまで事務局の中で話している段階ですけども、そういうようなイメージでいけるんじゃないだろうかということを考えているとしか、ちょっと事務局の段階でするのでそういうふうに考えておるところなんですけども。</p>
宮崎委員	<p>はい、わかりました。それで、もっとも削減していくところで、10年、20年先の新市の構想として財源が成り立っていけるもんならそれで十二分やと思うんですけども、もしそうでない懸念の方が、今の状態見たら多いと思うんですね。ですから、そういった、ひとつ財源として、税収だけでこれを賄うて、負担額を増やしていってそれでよしとするのではなくして、何らかの財源を</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
事務局長補佐	<p>生んでいけるようなことも、一つ構想として考えただけのものやったら、そういう考えも必要ではないかなと思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>きょうも、実は午前中、合併協議会の専門部会というのがありまして、その方たちの現状なり課題なりについてお聞きする場も持っておりました。前にも、それぞれの西脇市と黒田庄町の企画担当の方にも、現況なり課題、そういったことで聞かせていただいておったんですけど、その中で、ある方からは、やはりそれぞれ考え方あるんですけど、今言われておりますような経済の活性化というんですか、働き場所があったり、そういうことが基本になれば、ちょっとやっぱりこれからこの社会、やっぱり苦しいといえますか、行き詰る、先ほど委員さんが言われとったような、そういうこともやっぱり一番大事なことやないかなというふうなこと、こう言われるような方もございましたりしましてするんですけども、実際、ほなら厳しい状況でして、土地を確保しても企業が来てくれへんような現状の中で、なかなか必要性はわかっておりながら、これを具体的に、ほなどないするんやというふうな答えまではきょうはちょっと出なかったんですけども、十分そこらも踏まえて検討をさせていただかなければいけないなというふうなことは感じておるのは感じております。</p> <p>もうちょっと何回か、行政の方の担当の方の意見も聞きながらまた進めさせていただかないかな部分もあるのかなというふうなことも思います。</p>
小林副委員長	<p>そういう意味でいくとね、いわゆる財源という問題につきましては、国が今三位一体改革とかやってますけど、中身がよく見えない、何かもうひとつよくわからない、言葉だけが先行してましてよくわからない。ただ、国からは非常に補助金ですか、対前年12%カットとかいろんな具体的にどンドンどンドン削減されてますので、その中で、じゃあこの地域が残るためにはですね、私、</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>究極の形というのはやっぱり自前で賄えと、税金も含めて自分とこで賄えと言われてるわけですよ。そうすると、先ほどみたいに自主財源というような形でできるという形になってるんですけど、将来的にはできると、おまえんところで税率で決めていいとかですけど、今制限税率とかいろいろありまして制限があるんですけど、そうすると、自前で賄えといいますと、税金、じゃあうちは高くしますよと、それじゃないとやっていけませんという違いがですね、都市間の競争、まちの間で競争をせないかんです。そうすると、税金高くしなきゃやっていけないところはですね、もう逃げ出してしまおうと。つまり、それだけの工夫をして、自分とこですべて賄うというのが最初の形やと思うんです。そうすると、やっぱりもうほんとね、知恵を出して、いろんな地域の生き残り策をかけないといけない。そこへ行くまでに、今まではそうはいかなかって、税金が足らなければ交付税で賄うというシステムをやってましたんでね、今回、もうそういう発想をどんどん転換していかないとだめだというふうに思うんですけども、ちょっとまだそこまで行かないのかなと。</p> <p>ちなみに、非常にうまくまとまってる中で、現実に行財政の効率化というようなことも言葉としては非常に言うんですけど、ただ、職員の減員につきましても非常に難しいでしょうし、現実には、市民の数に合わせて職員の数がほぼ決まるんだということになりますと、合併しても何ら変わらないという可能性も非常に強いんですね。ですから、それはやっぱり住民サイドがどんどん、どんな意識改革をするかということに絡んでいると思いますので、言葉だけじゃなくて、本当に住民の意識を変えていかないとだめなんではないかなと思いますけどね、将来的には。例えば、現実にとまとめるとすると全てこういうことが言えるかなということですけど。</p> <p>例えば、私が、前から、例えば地方分権時代の対応ということ</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
西山委員	<p>になりますと、今ここにも書いてありますけど、専門的なあるいは高度なサービスをするんだというふうに言葉としては書いてあるんです。現実には、例えば、今の職員さんの異動のシステムを見てみますと余りそうではないと。高度な専門家ていうのは、失礼ですけど余りいらっしやらない。つまり、2、3年で変わるといような形のシステムはね、例えば税務課、建築に行ったりといようなシステムは、余り僕はどうかと。むしろ、同じ範囲の中で異動されるといようなシステムをつくってもらわないと、受け皿にはなり得ないん違うかなといようなことを言ってるんですが、そういうことをもっと具体的にもう少し詰めないと、言葉としてわかりますけど、高度なサービスはなかなか難しい、専門的なことは難しいんじゃないかなといことでね、非常に思ってますけどね。</p> <p>小林委員さんと同じことを考えております。職員さんのプロフェッショナルの方といのはいらっしやると思うんで、合併された場合、それがどうなるかといのは大変不安といのか、多分住民の方は不安だと思うんで、やはりプロフェッショナルの方をこのまま仕事を引き継ぐといのなんかはどうされるのかといのは、かなり皆さん、言うてはる住民の方は多いですね。そんなのを検討していただきたいなと思うんですけど。</p>
岩崎委員	<p>岩崎ですが、この小委員会で、これ今上がってるんですが、例えば、行政サービスにしても、一体どこまで突き進んで我々が検討せないかんのか、これを一つ一つね、ごく深くまで議論してたら、これなかなか前へ私は進まないと思うんですよ。今の職員削減の問題にしても、恐らく今、小林さんが言われたように、職員の減員ということになりますとね、これは恐らくクビにするわけにはいけへんわけやから、当然、定年退職を待たんといかんといような問題も出てきましようし、これは、私がこの間ちょっと質問した中で、住民に対する行政サービスにしても、じゃあ、こ</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>コンサルタント 千田氏</p>	<p>れ求められていますということで文書切れてるんやけども、じゃあこのことに対して議論したら、これ幾らでも話せることあるんですよ。だから、ある程度、小委員会はこの辺のところとめとこうという線があると思うんですけどね、議論すれば幾らでも話ることがあるし、これはどうや、これはどうやと言われても、また、先ほどちらっとおっしゃったように、当然専門部会というのが私はあると思うんですが、我々よりももっともっと詳しい方々が、ある程度に詰まった話をされてるんで、ある程度それにのっかって、それはちょっとおかしいんちゃうかという程度の意見を我々は言うべき委員会ではないんかなというふうに、私は実は理解してるんです。</p> <p>というのは、この小委員会、たった5回でしょ。5回の中でそんなに深く突き進んだ議論はなかなかできないと思うんですが。</p> <p>以上です。</p> <p>コンサルタンの千田ですけども、今お話がありましたように、ここでのまちづくり計画の小委員会の方はですね、どちらかといいますと、こういう合併をしてまちづくりにしたいなというのを主に検討していただく会議であるということで、最終的には、新市の建設計画という報告書の主要な部分を占めると。そういう意味で、その中の、この合併の必要性と効果というのは、前段で、まずこういうことが全国的に言われてますので、合併はやっぱり必要です。した場合にはこういう効果がありますねという前段を整理させていただいて、その次に、そういうことを念頭に置きながら、じゃあこの地域としてどうしたらいいのか、あるいはどういう姿が描けるのかというのをここで検討していただきたい。細かい部分については専門的に、先ほど言われました行政等分科会もありますし、あるいは基本的項目という形で、一つ一つ実行についてはこういうふうにしましょうということを細かく具体、検討されるようになりますので、ここでは、それを検討していただ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>く方が大きい方向性でして、それをちょっと議論していただきたいなど。限られた時間ですので、多分突き詰めていけばもっともっと細かい話になろうかと思いますが、ある程度大きい方向を、どっち向いていけばいいのかというのをまず議論していただければなというふうに思いますので。</p> <p>さわりの部分ですので、また、こういう前段で大まかいいいんじゃないかと。また、少しまちづくりやってから、ここだけはもっと書いといてほしいなというのが、また後々出てくるかと思しますので、またそのときにフィードバックをさせていただければ結構です。</p> <p>とりあえず先に進めさせていただければと思います。</p> <p>コンサルさんの方からはそういう説明で、事実そうであろうと思います。今後、基本ラインだけを大まかにやっとなないと、細かいところに入るとどうしようもないと思います。</p> <p>ほかには。</p> <p>この次の会、またその次の会までに、もう少し細かいところあるいは掘り下げてということも出てくるわけですね。</p>
コンサルタント 千田氏	<p>そうですね。平行していろいろ別個の会議で決まったことが出てくるかと思えますしね。あるいは、逆に、それが出てくるために大きい方向性を逆にこちらの方でやっていこうと。</p>
長谷川委員長	<p>よろしいでしょうか。ありがとうございます。そういうことで理解していただきまして、次、3番の、住民意識調査の結果について、コンサルさんの方から説明いただきたいと思えます。よろしくお願ひしたいと思えます。</p>
コンサルタント 前田氏	<p>それではよろしいでしょうか。資料の方は、事前にお配りさせていただいた冊子の方から。</p> <p>その中でもご説明あったかと思えますけれども、本日ですね、この後に、両市町の現状及び課題等を皆さんにご議論いただく際にですね、またこういったアンケート調査の結果も頭に置きなが</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>らご検討いただければと思いますので、簡単に説明だけさせていただきます。</p> <p>行ったアンケート調査、まず簡単に、内容はですね、定住意向、今後、一市一町に住み続けたいと思いますかという定住意向とですね、またその理由ですね、住み続けたいと思う方は何が理由ですか、また、転居したい方は何が理由ですかと、そういったことを伺っています。それとですね、現在のまちの現状について、これは満足度と、今後どういったことが必要かという、どういった施策が必要かという重要度、この施策の重要度、満足度と重要度も伺っています。</p> <p>そして、続いてですね、合併をする際にですね、どういったことを期待されていますかということと、また、どういったことが不安ですかということも伺っています。</p> <p>最後に、若い人たちの定住促進の施策はどういったものが必要だと思えますかということと、一番最後ですね、将来のまちづくりについての将来像等も聞いていると思います。</p> <p>その結果ですね、この冊子の、簡単にまとめてあるので、一番後ろの方の70ページから総括という形でまとめさせていただいておりますけれども、まず、生活行動範囲については、日常生活においては、通勤、通学、最寄品の買い物、飲食店の利用などについては、西脇市への行動が両市町とも多く見られているというところから、生活圏の一体性が伺えるということが言えると思います。</p> <p>またですね、文化活動やスポーツ活動などは、両市町ともですね、自市町内で行われているということで、そういったものは一市一町内に一定の整備がなされていると。また、行楽地ではですね、文化鑑賞等については、阪神地域への移動も多く見られていることから、比較的、ここ西脇市、黒田庄町について、阪神地域へのアクセスが容易であるということも関係しております。そう</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>いったところでの行動も多く見られているということが出ております。</p> <p>定住意向についてなんですけども、ここ西脇市、黒田庄町に住み続けたいと思う方が7割を超えているということで、非常に高い定住意向を持っていると。ただし、若年層の若い方がですね、やはり定住意向が低くなっていることが、まだ将来的なことが不確定であるのでわからないと答えた方も多いと。ですから、今後、特にそういった若年層が、後の設問でどういう施策が必要かというふうに聞いてますけども、そういった若年層に定住を促すような施策が必要ではないかということがあると思います。</p> <p>まちの現状の満足度についてなんですけども、満足度は、大体全体的にどうしても低く、満足度聞くと低くなってしまおうという傾向にあるんですけども、その中でも、公共交通に対する満足度が低いことと、あと産業分野ですね、やはり今現在、経済雇用状況が大変厳しい状態にありますので、そういったことを反映して、産業分野に対する満足度は低く出ています。</p> <p>それに伴ってですね、重要な施策、将来的に重要な施策に対してはですね、やはり満足度が低かった公共交通をより充実してほしいですとか、やはり高齢化社会になるにつれて、安全であるとか安心といったまちづくりに対する要望が強いことが伺えます。</p> <p>あと、教育、文化の分野はですね、やはり同じように高齢化社会に対する生涯学習の充実ですとか、最近非常に話題になっていると思うんですけども、学校教育のあり方ですとか、青少年、犯罪の低年齢化ですね、そういったものを反映して、やはり青少年の健全育成とかそういった分野も強く望まれていることが伺えます。</p> <p>健康福祉の分野では、こちらはもう、先ほどの安心、安全といったものも含まれると思うんですけども、医療施設の充実、また、高齢者福祉の施設の充実、そういったものが強く目立っています。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>そして、満足度が非常に低かった産業分野では、特に雇用の確保といったものを強く求めているということが伺えます。また、中小企業の育成や企業支援といった現在の雇用状況ですとか、産業の状況が非常に厳しい中で、そういった支援も強化してほしいという声が強く出ています。</p> <p>最後に、住民参加分野なんですけども、こちらでは、自治活動が活発に行われる環境づくりと、それを支援するような行政の体制づくりといったものが求められているということが伺えます。以上が重要な施策こうなっています。</p> <p>そして、まちの将来像、これはイメージ、どういったまちになってほしいですかというものなんですけども、上位から、やはり健康で安心して暮らせるまち、そして、商業、工業が盛んな、働く場がたくさんあるまち、そして、災害や事故、犯罪のない安全なまちといったものが上位項目に挙げられています。</p> <p>やはり高齢化社会とかですね、社会保障制度の改革、年金制度、また健康保険等の制度が今改革言われてますので、そういったものが予想される将来を不安に思っていることが、これ極端につながっていると思われます。</p> <p>そして、72ページなんですけども、合併に対する期待と不安についてでは、やはり行財政の効率化を期待しているということ、住民負担の軽減、そして、もう一つは地域のイメージアップといったものなんですけども、特にですね、行財政の効率化、住民負担の軽減、現在、全国で多くの市町村合併の議論がなされていると思うんですけども、やはりどこの市町村でこういったアンケートをとりましても、必ず期待する項目としてこれらの項目が上げられておりますので、こういったことをできるだけ積極的に進めるような合併を進めていくということが必要かと思われます。</p> <p>一方、不安に感じることもですね、これと関連してしまして、逆に、住民の負担は減るんではなくて増えてしまうんではないか</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p data-bbox="240 1653 437 1686">長谷川委員長</p> <p data-bbox="240 1771 405 1805">東野委員</p>	<p data-bbox="464 315 1342 813"> ということ、また、特に、市町で合併しますと、地域間の格差です ね、大きい市と小さい町なり、村なりがくっついた場合に、そ ういった地域間の格差が生まれてしまうのではないかといい ます。に対する不安と、最後に、まずこれの地域間格差にも関係する んですが、サービスの質が低下してしまうのではないかといい た不安、この三つも、やはりどこの地域でも不安として上げられる 項目になっています。ですから、これらには十分な配慮をした新 市の計画なりを考えていく必要があるのではないかといい ます。 </p> <p data-bbox="464 842 1342 1104"> 最後に、若年層の定住化対策。先ほどもありましたけれども、 定住意向が低い若年層に対してどういった施策がいいでしょう かという話ですが、やはり一番高かったのが、働く場所の創出、 または公共交通網の整備、そして、子育て支援環境を整備する といったことが上げられています。 </p> <p data-bbox="464 1133 1342 1514"> ただしですね、この必要だと思う施策なんですけども、これ 年代によって、40歳以上の年代では働く場所が必要だと言 っているんですけども、実際若い方たちはですね、公共交通の 充実やにぎわいづくりが重要だといった形で、やはりちょっと 求める施策が年代によって差が見られるということで、こ ういったものも、若い人が何を求めているのかということに 着目して施策を進めていくことが重要ではないかなという ふうに思います。 </p> <p data-bbox="464 1543 1342 1630"> 以上、簡単ですけども、住民アンケートの概略説明をさ せていただきました。 </p> <p data-bbox="496 1659 807 1693"> ありがとうございます。 </p> <p data-bbox="496 1722 1227 1756"> ただいまの説明に関して、何かご質問ございませんか。 </p> <p data-bbox="464 1785 1342 1977"> このアンケート、合併後のまちづくりをいかに進めていく かということをお問われていると思います。このアンケート の結果を問題提起として新市のまちづくりに生かしていかな ければならないと思います。 </p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
西山委員	<p>共通委員の西山でございます。</p> <p>私、青年会議所でも、いろいろ合併に対していろんなアンケート調査をしたんですが、よくありがちな、これは私らだけかもしれないんですが、アンケートをとってしまった達成感で、それで終わってしまって、それを今でも最大限にせっかく回答が出ているのに、利用するのが下手なんですよ、私らの団体が。ここでは専門家の先生方がいらっしゃるから、鬼に金棒かなと思うんですが、本当、重要な資料を事務局の方と密着して、この課題を訂正といいますか、どのような形で検討、行政の方とコンサルタントがどのように交わっていかれるのかをちょっとお聞かせ願えればと思うのですが。</p>
コンサルタント 千田氏	<p>コンサルタントの千田です。きょうも、この小委員会の前にですね、各行政でされております専門部会の方々とヒアリングをさせていただきまして、それぞれ福祉ですとか教育ですとかあるいはまちづくりの部会でお話をさせていただいて、その中で、皆さんと同じように、アンケート調査結果と、こういう項目がやはり不満が多いんですよと。それから、あとこういう項目が、具体的に重要施策として住民の方々が求められていますよと。そういうものを踏まえて、具体的な課題とか取り組みはどのようになっているのかということをお伺いしておりますし、それから、いろんな方々と、当然それを踏まえてですね、施策を展開しつつあるということでございますので、今後、特に住民本位で限られた予算の中で事業を進めていくに当たっては、当然、住民のより以上に求められているもの、より課題とされているものを、当然重点的にやっていくという方向で進められるかと思っておりますので、より、先ほど言われましたけど、重点課題としてやっていきたいと思っております。</p> <p>それから、このまちづくり小委員会の方でもこれを踏まえて、やはりこういうまちづくりにしていこうという方向性はやっぱり</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>長谷川委員長 宮崎委員</p>	<p>出していただいて、両方でぶつけ合っていくということが重要ではないかなというふうに思っています。</p> <p>ありがとうございます。ほかにはございませんか。</p> <p>宮崎ですけども、これちょっとコンサルの方にお尋ねしたいんですけども、このアンケートの項目自体、ちょっと内容は見さしてもうてしたんですけど、そしたら、協議会の場合でもお話をさせてもうたんですが、重要課題が仮に8つ上げられておって、その8つのうち6つぐらいが、これすべて重要やない項目があったんですね。その中で2つを選びなさいという感じのアンケートの問いやったんですね。その6つの重要やなと思われる中の2つを選ばれて、やっぱり大分迷われたところはあると思うんですね。その6つの中でも大事なものは2つやと判断されるのか、その6つはすべて大事なことを上げとるから、何かの形で反映させていこうと、アンケートの8つのうちの2つだけを、これは大事やと提議づけるのか、残りの6つも加味していかれとるのか、その辺をちょっと。</p>
<p>千田氏</p>	<p>そうですね、今回は、その重要事項の前に、各指標ごとの満足度ですね、あれを聞いておりますので、その中で、各、例えば医療とか福祉とかあるいはまちづくりについて、それぞれに満足度、不満足度を聞いておりますので、そうすると、どれに対して満足しているのか、不満足なのかという形で、大体指標が全部出てきております。</p> <p>例えば、グラフでこんなふうに満足度、不満足度という形で、生活基盤とかですね、それから教育面とかですね、本編の25ページの方に、そういう形で一個一個聞いております。それで、なおかつ、これで不満なものは当然やっていく必要があるのかもしれない。ただ、その中で、もっと、不満だからといって、ここはいいからよりここをやってほしいとか、あるいは今満足しているけどももっとやってほしい。特にこういうものは、健康福祉と</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
長谷川委員長	<p>か高齢社会という、かなり介護保険もあって、それなりに充実させてきていると思うんですね。そんな中で、割と満足度は高いんだけど、やっぱりもっともっと将来考えてやってほしいというものがあります。そういうものが大体重要だという項目に上がってきております。そういう意味でも、例えば、生涯学習みたいな話は、やはり高齢者、健康づくりとか生きがいづくりとかですね、そういった中でやってほしいという項目が増えておったりしたんですね。青少年の健全育成はやって欲しいという形で、やっぱり結果として出てきておりますので、そういうような項目で、6つ、たくさん上げるとなかなか絞りにくいんですので、あえて2つというふうにさせていただいて、それから漏れるものについても、当然、不満足度についてはどこまでやっぱり必要なのかということとを照らし合わせながら検討したんですね。重要なものということで精査をさせていただきたいというふうに考えております。</p> <p>ありがとうございます。ほかにはございませんか。</p> <p>ないようでしたら、議題4番の、両市町の現状、主要課題について、これも引き続き、コンサルさんの方からご説明をお願いしたいと思います。</p>
コンサルタント 前田氏	<p>すみません、先に主要課題の方ですね、皆様の方にはご意見シートということで、短所とか長所とかということをお聞かせいただくということになっておりまして、その前に、我々の方では、具体の地域の状況の前に、いろんな客観的な指標とかデータを見させていただいて、アンケートも見た中でですね、2市町の課題はこんなものではないかなということは何点かをまとめさせていただきました。</p> <p>ここで、ちょっとざっと説明させていただいた中で、じゃあ、もっと地域の本当にこれ以外のもの、具体的な課題はどんなのかというのを、逆に我々の方に教えていただいて、それで、よりよい地域に密着した計画づくりにさせていただきたいなと思ってお</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>コンサルタント 千田氏</p>	<p>ります。</p> <p>当然、今ちょっと上げさせていただいてるのは、ざくっとした客観的な指標ということで、またつっこまさせていただこうかなと思っております。</p> <p>それでは、本日の資料の2番、ここに、両市町の現状と課題とといったことで表にまとめさせていただいております。ここには、題の項目にですね、1に市政ですとか基本指標といったものから、3行目に主要人口とか商業、工業、その裏のページにいきまして、農林業（経済指標）、そして、種々の公共施設ですとか公共交通、また、生活基盤指標といったものです。</p> <p>またページをめくっていただきますと、最後に、現在の両市町の財政状況を財政指標として、これは、現状の統計ですとか種々の資料からこうした現状をまとめさせていただいております。</p> <p>そして、1件、1件見ていきますと、細かいのですが、そしてですね、ちょっとこの現状のところですね、表の中にマークがついてると思うんですけど、二重丸とかですね、黒丸とか白丸ですね、これちょっと凡例が抜けていたんですけども、二重丸がですね、ここでは両市町が持っている強み、長所ですね、今回、長所みたいなものと考えてください。そして、逆に短所もしくは弱みといった部分が黒丸。白丸はどちらとも言えないというか、社会潮流といいますか、社会背景のようなもので、この両市町の強みでも弱みでもなくて、社会的な時代背景であるといったとらえ方をさせていただければいいと思います。</p> <p>事前にお配りをしておると、それから、あと宿題の中でこういう形だというふうに見ていただいて、また、あわせてこの細かい話もですね、ここはこうじゃないかというようなことをご指摘を受けた方が、これ全部ご説明しますと時間がかかるかと思うので、同時並行してやらさせていただきたいなというふうに思います。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>コンサルタント 前田氏</p>	<p>ちよつとこの段階で、何か特にご質問みたいなものがありましたらちよつと伺っておいて、少しワークショップといいますか、進ませていきたいなとは思っております。</p> <p>続いて、その次に、資料3としまして、両市町の総合計画の方も、勝手に抜粋を載せさせていただいております。これも、総合計画の策定上ですね、主要課題、そして将来像、それから、新市建設計画の将来像・理念等を検討していただきますけども、現在の両市町の総合計画に載っている将来像ですから、基本的には、そして、施策の大綱といったものが、こういったものが上げられているといったことも、こちらを参考にさせていただきながら、両市町の新市建設計画ではどうしていくべきかといったことを考えていただければと思います。</p> <p>その次のページに、資料4番にですね、先ほど、一番最初に説明しました合併の必要性和効果、これが社会潮流といったものになると思うんですけども、それと地域の現状、そして、先ほどご説明させていただきました住民意向調査で、関連計画というのは、先ほどの総合計画ですとかですね、あとは、兵庫県ですとかこの東播磨の地域ビジョンといったものを、まず、この広域の計画ですね、そういったものから、この地域はどういった方向づけがなされているのかと、そういったものを関連計画としてまとめさせていただいております。</p> <p>それらを踏まえた上で、私どもは、その次のページからですね、1から6まで、主な、こういった課題が考えられるのではないかとということをご上げさせていただいております。</p> <p>一つ目が、やはり少子・超高齢社会という、安心、安全な都市の創造といったものがまず一番目に来るのではないかと。</p> <p>そして、2番目には、快適な定住環境の整備。定住、人口減少とかそういったものもありますので、定住環境といったものをいかに整備していくかということも重要ではないかということ</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>長谷川委員長 コンサルタント 千田氏</p>	<p>す。</p> <p>そして、三つ目が、地域産業の振興と地域内の経済循環、こういったものを連鎖させていく必要があるのではないと。</p> <p>それと、4番目には、環境との共生と循環型社会の構築、地球規模での環境問題を言われておりますので、これも重要課題として取り上げるべきではないかなと。</p> <p>そして、5番目に、ローカルガバナンスの実現。これちょっと聞きなれない言葉かもしれないんですが、ガバナンスというのは、行政や民間、それと住民がともにですね、協働で自治を行っていくという、今まで従来ですと、政府や行政がどちらかというとしてすべてやってしまう、統治をするというようなニュアンスのガバメントという言葉が使われていたんですけども、今後は、皆が協力して自分たちのまちの自治を行っていくと。そういったガバナンスという考え方に変わっていかなくてはいけないのではないだろうか、そういったこと。</p> <p>それと、最後には、6番目に、効果的な行財政運営。これはいろんなところで言われておりますので、これも必ず重要な課題となるのではないかと。</p> <p>こういった六つの柱を上げさせていただいております。この中でですね、いや、これがないじゃないかとか、こういったことがもっと重要ではないかといったことも踏まえながらですね、きょうこれからですね、皆さんがお持ちおきいただいた宿題のシートをもとにですね、地域の課題等を考えていければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>今までの段階の説明の中で何かあれば。</p> <p>今の説明の中で、もう少し質問したいという方ございましたら。</p> <p>特に、もしなければ、先に作業といいますか、ワークショップをちょっと始めさせていただいて、その都度、ご質問させていただくような形でよろしいですかね。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>じゃあ、すみません、ちょっと、今まではこういう座って意見交換会だったんですが、具体的に考えていただいた意見をですね、ひとつこの模造紙の上に張りつけて、みんなで見ながらちょっと議論とかお話し合いをさせていただきたいなというふうに思いますので、ちょっとこの場を、周りを動かしたいなというふうに思います。</p> <p style="text-align: center;">（ワークショップ中）</p> <p style="text-align: center;">午後 4時42分 休憩</p> <p style="text-align: center;">午後 4時53分 再開</p> <p style="text-align: center;">（ワークショップ中）</p> <p>（録音再開）</p> <p>長谷川委員長 ・ ・ 社会という中で、例えばJRの使い方にしても、例えば、黒田庄町から、少なくとも沿線の住民は2回に1回ぐらいは列車を使うことをお互いの義務であるとかね、だから、ごみの処理にしてもリサイクルあるいはそういったことにしても、やっぱりそういう取り組みは住民からやっていかなんだら、なかなか前へ行かないと思うんです。そのためには、住民と行政が地域に密着をした活動を起こしながら、それに対する予算をもらって、補助金のような形になるんか、まあ補助金ですね。そういう条件を選んでやらないとなかなか前へ行けへんのやないかと思えますね。</p> <p>コンサルタント 住民自らの利用増進ということですよ。</p> <p>千田氏</p> <p>小林副委員長 そうすると、やっぱりいかに地元を誇りに思えるかということですよ、基本的にはね。</p> <p>長谷川委員長 やっぱりそうだと思います。</p> <p>小林副委員長 やっぱりそういうように取り組んでいかなあかなあということですね。</p> <p>私、JR加古川線利用促進部長なんです、部会長なんです。すみません。私乗ってませんけど。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
宮崎委員	<p>そういったことで、相反することがやっぱり起こってくるんですよ。交通網の整備が起こされてきたとしたら、みんな自然的にバス、JRの利用度が激減してくるとというのが、やっぱり相互関係で出てきてしまうものやと思うんですね。</p>
西山委員	<p>大阪でも1時間で行けるわけですよ、高速道路使えば、何とかそれをベッドタウン、可能性を秘めていると私は書いたんですけど、大いにそれは三田のようにですね、ならないものかなと。交通の整備さえされれば、三田市みたいになれる可能性はあるのかなという気がするんですが。すぐ近くに、全国で人口増加率ナンバーワンというのを維持し続けたまちがあるわけですから、それも大いに参考にできるはずなんだけどなというふうには思うんですけど。</p>
東野委員	<p>今、阪神間へのアクセスとして、西脇市の方も何ですけど、黒田庄町なんかでも篠山口まで送り迎えしてもらって、そこまで行ってる人もたくさんいますね。西脇市の方も新三田まで出られている方がたくさんいますね。そういうようなことで書いたんですけど、複線化から柏原とかその辺まで伸びればすごくいいんです、まあ難しい話ですけども。</p>
コンサルタント 千田氏	<p>それと、東西幹線、神戸へ行くのに、いろいろと3つのルートありますけれども、やはり1つの幹線が欲しいですね。</p> <p>この辺は、一丸となって整備促進をしていくということとともに、自ら公共交通を使っていくということですね。</p> <p>わかりました。あと、スポーツとか文化とかというような面もですね、自然とともに結構、これすごく全国的にも有名な部分。あ、それから、あとへそ公園もありますね、日本の中心になっているというような、いろいろこういうあたりも地域の資源、あるいはコミュニティ自身も結構いろいろ動きがあるということなんですけども、このあたりどうです。そのあたりも、スポーツ、文化というのも、結構、人とですね、体協・文化協会とかグループが入</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
東野委員	<p>ってイベントをやっていると、運動されているような結果も長所になっている部分だと思うんですけどね。</p> <p>それはどうですかね、施設といえば、やっぱりソフトな人みたいなもんですかね。それがうまくいっている結果ではないかなというふうに。</p> <p>これはこのまま、わりと課題というよりも、こっちは課題はありませんので、わりとこれをこのまま順調に伸ばしていけばいいというようなことで。</p> <p>その中で、合併の話になってくるんですけども、西脇市と黒田庄町、組織とか文化協会にしても体育協会とか婦人会とか、そういういろんな組織の違いがあるんですね。違いがあって、それをどのようにうまく調合していくかが、調和がとれた文化都市にしていくとかそういうような意味で、その辺がやっぱりもう少し調整をしなければならないと思いますね。</p>
小林副委員長	<p>それと、やっぱり特色にあわせたスポーツしないと、受け入れられないと僕は思ってるんですけど。</p> <p>例えば、黒田庄町いかだ祭りもうなくなりますよね。西脇市で言うたら、兵庫レディースマラソンでうけてたんが、比較的どこも余りやってないのがなくなってしまったですね。そういう特色がある祭りなりそういうイベントが、どんどん補助の関係とかいえるんなできない関係でやめてると思うんですね。どこでもやることではなくて、もっと特色のあるそういうイベントがどんどんできないかなというふうには思うんですけどね。</p>
東野委員	<p>今年でも、なくなったんが何百万という予算が、レディースマラソンは加古川へ行きましたけども、500万、600万の予算が。</p>
小林副委員長	<p>スポンサーの問題もあったりするんですけどもね。</p>
東野委員	<p>スポンサーが撤退しましてね、なくなりましたね。</p>
小林副委員長	<p>結局は、そういうのが、ちょっと私らは情けないというふう</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
宮崎委員	<p>思うんですけどね、それが維持できなかったということについてはね。</p> <p>主要な各市町単位で全体的にやり始めましたよね、各地のマラソン大会とか。へそ公園の方もあれなんですけども、やっぱり県の方で、今田園空間の整備事業で一貫性のあるものでへそ公園があって、で、日時計の丘公園があってというラインができとるんですよ。ただ、県の方としては、できとるんやけども、地元がそれだけの、先ほど言われとったPRなり、これを中心にしていくんやという一つの柱いうもんがやっぱりないから、分散されてしまいよって、こうなってしまうよるんやないかなと。</p>
小林副委員長	<p>今言われたようにね、へそつないで散歩道つくったりしてるんですけど、県はこっちでやられてる、地元の方と全然連携とれてないんですよ。だから、今、田園空間で散歩道という提案してるんやけど、我々もちょっと人手不足で、なかなか次の提案できないんですけど、それもっともっと連携とれれば、もっとすごい力になるんちゃうかなと思うのが、とれてないところが非常に多いですね。</p>
宮崎委員	<p>事業を引っ張ってきて、事業予算を取らんがための形みたいなものになってしまったね。</p>
小林副委員長	<p>そういうことです。散歩道、もっとどんどん提案していくという話にはなってるんですけど、なかなか人手不足で。</p>
宮崎委員	<p>先ほどの自然環境の方に戻ってしまうんですけど、やっぱり地域性で物すごい加古川、杉原川というのが両市に流れておってね、それで、山が近くにあって、その自然の形があんねんけども、やっぱりただ単なる田舎やいうだけやなしに、その山に住民が足を運べるような取り組みをやっていこうということで、4年間、里山づくりというのが黒田庄町であって、そこを伐採して植林にされて、植樹をそれぞれ住民の方がされとるんですね。そういう自然の山を活用して、足を運んで自然を守っていくというような形は、ええこ</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
小林副委員長	<p>とを今されよん違うかなとは思いますがね。</p> <p>そうですね。今、非常にいい自然環境だというふうに出てるんですけど、現実には非常に悪くなってますからね。それを、周り皆意識してないというところがあると思うんです。自然に恵まれているというのを思い込んでるところがあって、現実には山へ入ってみますとね、非常に環境が悪くなっているにもかかわらず、いい環境だと思ってるところがあって、だから、もっと皆さん、山へ出て行って、どんどん、どんどん自然を生かすことをもっと考えないと、今生かさないとかあかの違うかなと思う部分があるんですよね。特に子供たちに、今言ったように、どんどん、どんどん山へ入って経験させないとだめなんちゃうかなという思いが非常に強いんですけど、皆さん言うと、自然環境に恵まれてるから大丈夫だというふうに言われるんだけど、本当はそうじゃないんじゃないかなということも思いますね。</p> <p>いかに里山で自然体験を経験さすかというようなことも非常に大事なことだと思うんで。私、子供にどんぐりこまの体感させたりしてるんですけど、本当に子供たちから自然の環境に出かけて行って暮らすという体験しないと、忘れてしまうん違うかなと思いますね。</p> <p>だから、いいと思ってるのが実はそうでないという裏返し、非常に多いので。</p>
コンサルタント 千田氏	<p>あと、こちらもそうなんですけど、短所の方の克服ですね、裏返しになるかと思うんですけど、その中で、産業の方ですね、雇用の促進、これアンケートの方でも一番不満度が高いといえますかね、どうにかしてほしいという形で出てます。このあたりはいかがでしょう。さっき言ったPRの問題というのも大きいので、こちらとつながってくるかと思うんですけどね。やはり中心市街地の空洞化みたいに整備が進みつつあるんですけど、まだ問題も多くてということが上げられておりますね。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
小林副委員長	<p>基本的に思いますのはね、やはり交通機関の問題もそうなんですけど、例えば、どこそこに交通機関つくってほしいといたって、そんなことは到底できることではないので、産業もそうなんですけども、例えば、何とか醸成をして産業を盛り上げましょうという方針は、むしろ僕はだめなんであってね。やっぱりこの地域が、産業とか交通とか人口とかいうものを取り返そうと思えば、この地域がやっぱり明るく楽しいという、そういうキーワードで、人口が増えるようなこと、つまり、この地域へ来れば楽しいよということをすることによって、やっぱり産業が増え、人口が増え、交通も変わると。例えば、交通で言えば、阪急がですね、三田までつないだらというような構想もあったし、かつては、神戸空港と豊岡空港つないで、この地域通るとというような線路の計画もあったんですけども、要は、基本的には人口だと思っんですね。交通という整備に関しましては人口がキーワードだと思っんですけど。そうしたら、人口が増えれば、ほっとたってそんなん来るわけですからね。だから、この地域にいかに、今これ、何か兵庫県では、この地域が特に人口減少が増える予測が出てますので、やっぱりみんなが明るい楽しいまちづくりというのをしないと、人口減少に歯どめかからないし、産業もどんどん歯どめかからないしということが進むんじゃないかなと。息の長い話ですけど、やっぱりそういうのが一番基本じゃないかなというふうには思いますね。</p>
コンサルタント 千田氏	<p>こういう明るく楽しい地域であると、若者、当然、定住化促進といたしますかね、いう形になるんで。</p>
小林副委員長	<p>ちょっと話それますが、私、ちょっと裁判所の絡みのことがあるんですけど、前の裁判官がですね、西脇市は最近どうなってるんやと言われたことがあるんですね。それはね、たまたまちょうど、薬物に絡んでの事件があったりした時期があったんで、たまたまだったかもしれませんが、どうも若者にそういう薬物</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>コンサルタント 千田氏 宮崎委員</p>	<p>依存が目立ちかけた。今まで、この北播磨にはそんなこと余り関係ないと思ってたのに目立ちかけた。それは、やっぱりこの地域に夢がないんじゃないかなと。つまり産業を含めてね、夢が非常になんじゃないかなということを裁判官が私に言われたんです。私もうそれでね、もう本当に胸が痛むといいますかね、これほっとしたら、本当にえらいことになるなというようにそのときは思ったんですけどね。やはり産業が衰退する、人口が減っていく、そういう若者に対する定住というようなことも含めて、どうもそういうことが語れないというようなことになると、社会現象としてそういうことも出てくる。それはたまたまやったかもしれないがね。</p> <p>そういうことを言われて、本当に胸が痛かったことがあるんですけど、やっぱりそういう総合的なことを考えないと、本当にそうふうになってしまうのではないかと強く思いました。えらい裁判官がそういうことを言いましたんでね。どうなってるんやろと言われましたんでね。</p> <p>総合的な対策をやらないと、一筋縄で行かないということです。</p> <p>そういう問題になってったら、我々の年代の親がものすごく関連してくるんですよ。30代、40代、50代で、家庭環境がやっぱりものすごい今違てきとるんですよ。PTAとか地域活動を通して、その辺のことが目についてくると思いますね。ですから、行政間でそれをもっと課題、問題にしてあげてもなされるんではないかと思うんですね。</p> <p>その家庭環境のあり方といったことになったら、かえて自然と地域のコミュニケーションとかね、その辺がとれたりもし、新市になって、方針の方にもね受け継いでいくというように。</p>
<p>コンサルタント 千田氏</p>	<p>そのあたりは、今回は長所と短所ですとか、その克服、ちょっとそれ突き詰めていきますと施策づくりになります。また、次の</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
東野委員	<p>段階にまた検討する機会を設けたいと思いますので、きょう、大体、これぐらいの課題といたしますか、地域の認識といたしますか、そういう形で少しまとめさせていただくような形でよろしいですかね。</p> <p>次に、ちょっとこれ踏まえて、あとは将来像のキャッチフレーズですね、そういうことを簡単に、ちょっと時間が、できれば6時ぐらいまでにですね、皆さんお忙しいと思いますので、30分ぐらいで、ちょっと簡単に、あとは将来像のキャッチフレーズですね、少し発言いただきたいんです。</p> <p>それから、我々の方でちょっとまとめさせていただいて、見えるような形でお答えしたいと思いますので。</p> <p>それでは、将来像を考えていく上で、一言でみんなにわかるようにですね、先ほど、地域の誇りを伝えられるようなものができればいいかなという形で、すぐにこういうキャッチフレーズになればいいんですけど、なかなか難しいと思いますので、ここ入れていただいても結構ですが。さっき言った加古川とかですね、杉原川とかあるいは黒田庄和牛があればというようなことがあれば、ほとんど、あと釣針とか播州織を入れていただいて、それらをこの中に取り込めるような、PRできるようなキャッチフレーズができればいいかなと思います。</p> <p>例えばこれ、加古川とか播州織とかあって、先ほど自然というのがありましたので、加古川と自然と北播磨の文化が育くむ田園都市もありますし、そういうような形でキャッチフレーズも考えられますよという、こうちょっと例を書いておりますので。</p> <p>これについて、何かこの案はどうかと、こういうキーワードは大切だというのがありましたらお願いしたいと思います。</p> <p>私、この両方分かれるんでなしにね、キーワードは環境とか地域、農業、個性、非常に今言われてますね。だから、環境保全とか地域づくり、人づくり、個性づくりの中で、参画と協働いうん</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
コンサルタント 千田氏 東野委員	<p>か、そういう何と循環型社会、それから循環型社会はゴミとかそういう中で、黒田庄有機の土づくりセンターが計画をされてます。それと黒田庄と西脇の生ゴミなんか処理できればいいかなと思っております。</p> <p>キャッチフレーズみたいなのはありますか、何か。</p> <p>これね、ちょっと加古川の自然という、加古川いうたらこの流域全部ですのでね、加古川市もありますので、私は、水と緑とか、豊かな自然、豊かな土壌、豊かな風土とかいうようなので、それで、「北播磨、人と文化が織りなす田園都市西脇」とか、そういうような、もっともっと僕はそれにしたんですけども。</p> <p>加古川の名称がちょっとどうかと。加古川なんですけれども、加古川市もありますし、加古川全域。</p>
コンサルタント 千田氏 東野委員	<p>あくまでも参考とした例ですので、これにこだわらずに、ちょっとたくさん。</p> <p>「織りなす」とかそういうのをよう使います。「織りなす」というたら、かけて、播州織を。</p>
小林副委員長	<p>メインタイトルはちょっとそれで決めてもうたらいいいんですけど、私、臍帯血バンクというのを支援しまして、そのときに、いろんなへその緒というのを、命の誕生のドラマってのをよう言ってるんですね。命がつながるときのドラマというのは非常に不思議なものがありまして、せっかくへそというのは、僕は地理的なへそではなくて、地理的なへそということになると、例えば日本の真ん中だとかいろんなことがありますのでね、そういうのじゃなくて、命が誕生するときのドラマというのを大事にしたいなということで、命を大切にしまちづくりというのを言いたいというふうに思うんですね。だから、「命を大切にすへそのまち」という、ちょっとサブタイトルみたいなのを何とか取り入れてほしいなと。地形的な、地理的なへそというのは自慢にも何もなりま</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>コンサルタント 千田氏</p>	<p>せんで、私はそういうことで、そういうドラマの部分を生懸命言ってるんですけども、へその緒でつながる人間ドラマというようなことを言ってるんですけどね。</p> <p>委員さんから他いただいておりますのは、一つが「水、緑、人が輝く共生のまち」ということですね。それから、「日本のへそ、豊かな自然と産業が織りなす安住のまち」、それから、「人、豊かな自然、歴史と文化が織りなす交流のまち」、それから、「人が輝き、自然と共生、協働で地域が輝くまち」ということですね。</p> <p>ここ、ご提案いただいているのは、やっぱり水と緑が非常に重要であるということと、ここで、これにない人ということですね。人が非常に重要ではないかということで、このあたりの共生とか、それで、安心のまちあるいは交流のまち、それから協働ですかね、で、人が輝くというようなキーワードをいただいております。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>それと、他いただいているのは、「自然と人との共生のまち」、これも、先ほどありました人と自然が重要ではないかということですね。それから、「大地の恵みと心通う豊かな都市」ということで、人と心というキーワードが出されてます。その次に、また、「心のたすきでつなぐ明るい未来」、これも心ですね。それから、川ということで、加古川だけじゃなくて全体の川ですね、「川の流れの豊かさと人の心の豊かさがうれしいまち」、それから、「ご縁って不思議ですね、西脇が好きです」という形で、地域をやはり誇りに思う、好きに思うというようなことを表現されていると思うんで、これも、心とか縁ということで結びつきみたいなことですね。そういったもので表現はどうかという今ご提案をいただいております。</p>
<p>浅田委員</p>	<p>心のたすきは工業高校をかけさせてもらってるんですよ。参考資料見せてもらっても、緑、自然、そういう交流というのは、もうキャッチコピーにはいつも出てくるものですので、ちょっとそ</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
コンサルタント 千田氏	<p>れじゃないものということを考えてんです。</p> <p>キーワードが、住民と行政のコミュニケーションということと、自然環境、それから行財政のスリム化、合併ですので、それと、特産物日本一を目指すということが重要なキーワードではないかというご提案とともに、キャッチフレーズの方が、「自然との共生を目指したまちづくり」、それから、「安全、安心で暮らせるまちづくり」、それから、「人と自然にやさしい環境づくり」、それから、「人と自然の融合するまち西脇」ということで、人と自然との共生、共存、それから、その中で、当然、安全、安心の環境づくりということがご提案されているキャッチフレーズですね。</p>
西山委員	<p>あえて一つだけ、一緒なんですけど、あえて少子高齢化が進む中で「高齢者にやさしいまち」と。</p>
小林副委員長	<p>「人が輝く」というのはいいですよ。ここにしかない形ですね、そういうのはもうほどこも同じで。</p>
東野委員	<p>黒田庄でも、この間考えた、水と緑、豊かな土にはぐくまれる何で、ちょっとこうないものいう何で、土をね。</p>
小林副委員長	<p>「土づくり」というのはね、大きなものですね。</p>
コンサルタント 千田氏	<p>今、水と緑とか豊かな自然というのは不変にあるという中で、それと、命というお話とか、それとか、へその話と、それからあと、心と人という話ですね。それと、あと、輝くということと、それから、自然との共生ということと協働ということですね。あと、人の中でも、特に高齢者ということがキーワードであるとかいうのが今上げられておる。</p>
東野委員	<p>それともう1点、今競争のときに、「支えあう社会」とか、生活レベルで格差の少ない共存、共栄とかそういうことだと思っんです。</p>
コンサルタント 千田氏	<p>そうしましたら、今ご意見いただいている中で、全体的に1個1個個別といえ、コミュニケーションづくりとか明るく楽しい地域づくりとか、人の問題ですか、昔の住民の性格といったもの</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
宮崎委員 長谷川委員長	<p>ですね、そういったものの中で人が重要だということと、それから、当然、自然環境も重要だということですね。やはり明るく楽しいまちづくりとか、それから、あと、命を大切にするとかコミュニケーションですとか、それと、キーワード、それから共生とか共存、それから支え合うということですね。これも命というような形。それから、明るく楽しいということで輝くということですかね。そういうようなキーワードがやっぱり大事だということがこの中で織り込まれてきたかなというふうに。</p> <p>これをちょっとまた踏まえて、これを組み合わせてみたらこんな将来像ができるんじゃないかというものをちょっとお出しさせていただいて、また、皆さんでもこれを踏まえて考えていただいて、お話をまた次につなげていきたいなというふうに思います。</p> <p>大体このような感じでよろしいですか。</p> <p>こういうようなイメージがあった中で、じゃあ、どういうまちづくりを具体的にという中でふれていく、どういったまちづくりを進めていくのかというようなお話をさせていただきたいなというふうに思っています。</p> <p>小林委員さっき言われとった、心の豊かさとか心というものが根底にないと、その辺のことばは出てこないの。</p>
	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>ということで、本日の議事である新市の将来像、基本理念等についてのワークショップ形式での議題を終わらせていただきます。</p> <p>非常にたくさんの意見を出していただき、また、慎重に審議されております。</p> <p>次回の議題について、事務局の方からちょっと説明をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、ありがとうございました。</p> <p>次回の議題等につきましては、次第にございますとおり、今回</p>
事務局長補佐	

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
長谷川委員長	<p>のワークショップの議題を踏まえまして、主要課題について整理して出させていただきますので、それをご確認いただきまして、また、新市の将来像、基本理念についての内容を固めていきたいというふうに考えております。</p> <p>それと、また、計画の中間報告となります新市の将来構想についての協議会報告について検討もいただきたいなというふうに考えております。</p> <p>そして、将来像と基本理念をもとに、新市のまちづくりの基本方針というものにつきましても協議をしていただきたいなというふうに考えておりますので、ひとつまたよろしくお願ひしたいと思ひいます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
東野委員	<p>非常に長時間にわたってお願いしたんですけども、次回の小委員会ですけども、この日程がちょっと変わるんですかね、この前決まっとったんかいね。</p>
長谷川委員長	<p>決まってきました。2月の10日。</p> <p>それちょっと変わりますので、都合のいい日を。</p> <p>事務局の方からは、2月の第3週目ぐらいというふうに調整が、委員さんの要望があればそのあたりでひとつお願ひしたいと思ひいます。</p>
事務局員	<p>したがって、16日から21日の間。</p> <p>19日の後の方がええのかいな、これは。</p> <p>それはどちらでも構いません。今度の協議会では、一応、今回の報告のみを予定してますので。</p>
長谷川委員長	<p>19日は、今度、黒田庄町で第4回の合併協ですから、これを外して、第3週だと、前だともう二十日しかないね。</p> <p>あと、時間についてもちょっと検討させていただきますので、皆さんの都合のいい時間で。</p>

発言者	議題・発言内容・決定事項
長谷川委員長 浅田委員	空いてる日、浅田委員、どうですか。 16の週ですか。
長谷川委員長 浅田委員	そうですね。 空いとるのは16と20日だけなんです。
長谷川委員長 岩崎委員	これは岩崎委員も同じ日程ですか、2月20日。 ただし、その時間帯によるんです。
長谷川委員長 岩崎委員	時間帯ね。 例えば、夜やったら非常にありがたい。
長谷川委員長 事務局員	コンサルさんの方が20日が。 これ、時間、3時からでないといけませんかね。
長谷川委員長 浅田委員	そうですね、コンサルさんに入ってもらおうと思うと、その程度 が限界かなと思うんですけどね。
長谷川委員長 宮崎委員	時間はね、4時。4時ぐらいまでだめなんですけども。20日 は予定が入ってますね。
長谷川委員長 東野委員	ほな17、18は。 17、20なんですよね。
小林副委員長 事務局員	だから、皆さんが夜の方が都合がいいということでしたら、もう ちょっとおくらせた時間でいうことで、3時いうたら、余計にち よっと中途半端なような気がしますので、それは検討させてもら いますので。
長谷川委員長 東野委員	でも、8時ごろから12時ごろまでいうのも、これこたえるし。 そんな時間でもよろしいんですか。
長谷川委員長 浅田委員	事務局大変ですけど、ほなお願いできますか。16ということ で。時間はどうしましょ。
長谷川委員長 浅田委員	7時とかそうでしょ。 まあ7時ごろ、余り遅なったらあかんからね。ちょっと早いこ と。
小林副委員長 事務局員	ここは9時にもう閉まりますのでね。 閉まるんですけどね、皆さんの都合で、

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>夜勤めておるわけではないんですけど、皆さんの都合であれでしたら、それは考慮させてもらいますので。</p>
岩崎委員	6時ぐらいだったらどうですか。
長谷川委員長	ほなら、時間は6時からということで。
浅田委員	あわせませす。
岩崎委員	ほな、中とって6時半は。いや、そこら30分ごつつ貴重ですよ。
浅田委員	6時ここに着こう思たら、5時半には出んなんからね。
岩崎委員	6時半やったらは。
浅田委員	遅いのは私はありがたいです。
岩崎委員	一緒やるか。
小林副委員長	30分延ばしたのと一緒やね。
長谷川委員長	どないですの。
浅田委員	6時半にしてもらえるんでしたら、6時過ぎに出られるのでありがたいですけど。
長谷川委員長	<p>なら6時半にしましょ。では、皆さん、お食事を済ませてから来ていただきましょか。</p> <p>あと日ですけども、日はそんならいつでもええということになるんですかね。</p>
浅田委員	20はもうこちらがあかんのやったら16日。
宮崎委員	1週ずらしてもうたら助かりますけど。
浅田委員	1週ずらしてもらったら助かるけど。
東野委員	それの方が、合併協済んでからの方が。
事務局員	はい、23、24ぐらいでしたら。
長谷川委員長	<p>ほなら、23日、月曜日ですけどもよろしいですか。</p> <p>日は23日に決定します。時間は6時30分ね。</p> <p>それでは、非常にご苦労さんですけども、23日の月曜日、時間は6時30分からこの場所で開かせていただきます。</p> <p>そういうことで、本日は非常に皆さんお忙しい中、熱心に長時</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>間にわたって協議いただきましてありがとうございました。期間的に、また非常に無理な願いをするわけですが、限られた時間内で効率よくやっていただくようお願いしたいと思います。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">（開 会 午 後 5 時 5 1 分）</p>